

平成 28 年度刊行 埋蔵文化財発掘調査報告書 要約

金沢市文化財紀要 307					
『畝田・寺中遺跡Ⅱ ー木曳野遺跡群Ⅰー』					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
畝田・寺中	集落跡	縄文 弥生 古墳 奈良・平安 鎌倉・室町	掘立柱建物跡 8 棟 溝跡 19 条 井戸/土坑跡 19 基	土師器 須恵器 陶磁器 木製品 石製品	
要 約					
<p>土地区画整理事業に先立って実施した畝田・寺中遺跡の発掘調査報告。本書では平成 16 年度に調査した東西の区画道路のうち、東側の調査区について報告。掘立柱建物跡、井戸跡、遺物を含む溝跡等を検出した。SD303 は弥生後期の甕、壺類が出土し、当該時期の環濠と考えられる。その他の遺構から出土する遺物は古墳時代前期のものが多く、当該時期の集落跡の一部と考えられる。また、方位に沿って配置された隅丸方形の柱穴跡を有する総柱建物は古代の倉庫跡と考えられる。</p>					

金沢市文化財紀要 308					
『直江ボンノシロ遺跡Ⅲ』					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
直江ボンノシロ	集落跡	弥生～ 古墳初頭 近世～近代	土坑、周溝、柵列 溝、柵列	土器、石器 陶磁器、土器、 木製品、漆器	
要 約					
<p>体育館及び地下貯留施設建設工事に先だって平成 26 年度に実施した直江ボンノシロ遺跡の発掘調査報告書。平成 22 年度調査区に隣接する場所で発掘調査を行っており、弥生時代末～古墳時代初頭にかけての川跡や周溝等を確認した。また、平成 22 年度調査同様、地山に縄文時代晩期の土器が混入した状態でみつまっていることから、周囲に縄文時代の遺跡が存在する可能性がある。その他、近世から近代にかけての幅約 10m の流路も確認された。</p>					

金沢市文化財紀要 309					
『出雲じいさまだ遺跡Ⅳ』					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
出雲じいさまだ	集落跡	古墳	平地式建物周溝 掘立柱建物 土器埋納土坑 方形土坑	弥生土器 古墳時代土師器 石器 木製品	
要 約					
<p>公民館建設に先立って平成 25 年度に実施した出雲じいさまだ遺跡の発掘調査報告書。平成 14 年度調査区の南東、平成 23 年度調査区の北に隣接する箇所を発掘調査を実施し、古墳時代の平地式建物の周溝、掘立柱建物、土器埋納土坑、方形土坑等を確認した。</p>					

金沢市文化財紀要 310					
『出雲じいさまだ遺跡Ⅴ』					
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
出雲じいさまだ	集落跡	弥生 古墳 奈良・平安	掘立柱建物 竪穴系建物 井戸 土坑 溝	弥生土器 土師器、須恵器、 石製品、木製品、 玉 玉つくり関連遺物	古墳時代前期の土器 が多数出土 管玉未製品、剝貫円 盤、円盤状未製品な ど玉つくり関連の遺 物が出土
要 約					
<p>小学校新築移転工事に先立って平成 22・23 年度に実施した出雲じいさまだ遺跡第 5 次調査の一部及び第 6 次調査の発掘調査報告。古墳時代前期を主体とする。竪穴系建物 6 棟、掘立柱建物 19 棟（弥生時代後期 2 棟）、井戸や墓穴と推定されるものを含む多数の土坑、溝を確認した。今回報告となる地区は遺跡の中心部に該当し、大規模な周溝を有する竪穴系建物が林立している。第 5 次・第 6 次調査区の様々な遺構から玉材の溶結凝灰岩（緑色凝灰岩）片や各種未製品が散発的に確認されている。玉類の成品も出土しており、生産地と消費地双方の性格を併せ持つ遺跡といえる。</p>					